

めざそう！人口5000人をキープ！

10年後も
いちまん ひとみ
10000の瞳

御牧の郷だより

御牧ふれあいの郷づくり協議会 編集 広報部 平成30年9月 第17号

第1回 ものづくりワークショップ開催！

8/19(日)に憩いの家にて「第1回ものづくりワークショップ」が開催されました。これは今年度北御牧で開催される、4つのアートイベント(天空の芸術祭・ライフイズアート・火のアートフェスティバル・ものづくりワークショップ)

のひとつです。この日は、みまきっこ・なだちっこ山の交流の活動として、巨大バルーンを作り、その中に入って楽しみました。講師には、昨年天空の芸術祭でシンポジウムを行ったアーティストのまゆちゃぱうおにかさんをお迎えました。



Photo by Naomi Nonomura

巨大バルーンの中に入ってみました！(@憩いの家地下)

北御牧の人の動き

総人口 4,833人 (-16)
男 2,395人 (-5) 女 2,438人 (-11)
転入 8人 転出 10人
出生 3人 死亡 5人

8月31日現在 ()内は6月末対比

目次 Index

- p1 ものづくりワークショップ開催
- p2 アートイベントのご案内
- p3 地域ビジョンのページ
- p4 サロンレポート／知恵蔵の時間③④

2018年秋 開催イベントご案内

TENKU 天空の芸術祭 2018



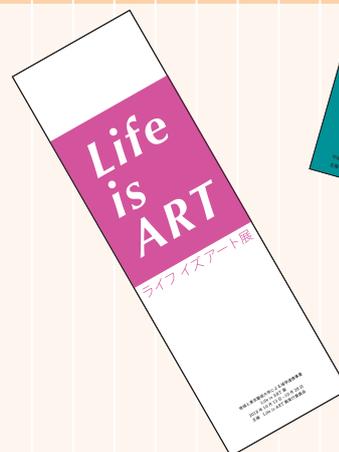
— 国内外のアーティストによる滞在制作・展示 —

日時 2018年10月13日(土)ー2018年10月28日(日)
会場 天空ミュージアム(旧稚蚕飼育所)(八重原3533-752)
芸術むら公園(八重原1806-1)
北部企業体事務所跡(御牧原1799)
問合せ先 天空の芸術祭事務局(東御市大日向337)
TEL:0268-67-1010
E-mail:tenkuartfes@gmail.com



— 地域と東京藝大による域学連携事業の展覧会 —

日時 2018年10月13日(土)ー2018年10月28日(日)
会場 天空ミュージアム(旧稚蚕飼育所)(八重原3533-752)
芸術むら公園(八重原1806-1)
北御牧庁舎(大日向337)
東御市商工会北御牧支所(大日向224-5)
北部企業体事務所跡(御牧原1799)
問合せ先 ライフイズアート事務局(東御市大日向337)
TEL:0268-67-1010
E-mail:bw3s0d3bqr5q3qrj234x@gmail.com



ライフイズアート

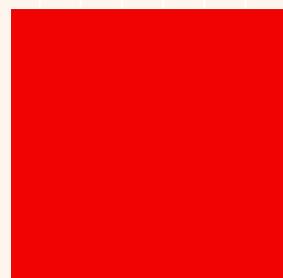
第2回ものづくりワークショップ

— 野焼き体験～古代人ごっこ～ —

講師 角りわ子先生
日時 2018年10月21日(日)、28日(日):全2日間
内容 1日目 粘土で小物作り 2日目 野焼き
参加費 ひとり500円(当日徴収)
会場 憩いの家地下(八重原1807-1)
問合せ先 御牧ふれあいの里づくり協議会(東御市大日向337)
TEL:0268-67-1010 担当:神崎
申込み先 みまきアートクラブHP(下記URL) 申し込みフォームより



第3回は11月下旬、第4回は1月下旬を予定。詳しくはみまきアートクラブのHPにて。
HP:<https://bw3s0d3bqr5q3qrj23.wixsite.com/mysite>
右のQRコードからもHPにとべます。



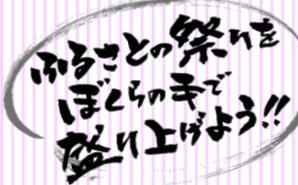


ニードカンコに新風!?



北	御	牧
中	学	校
生	徒	会

ストラックアウト大人気!



「祭りがもっと面白ければいいのに…」昨年の中学生アンケートにこんな声がありました。「これは、中学生自身が解決してこそ意味がある」と考えた私たち…この思いに学校も応えてくださり、今回ニードカンコに新しい風がふきました。北御牧中学校生徒会による「ストラックアウト」のブースが誕生したのです。

当日、中学生のブースは大人気で、子どもから大人まで、予想を超える200人以上の人がストラックアウトを楽しみました。そして笑顔で生き生きと活動する中学生15名の姿は、とても頼もしかったです。頑張ってくれた子どもたちの心には何が残ったでしょうか? 来年以降も継続しようと話しています。どうぞお楽しみに。

*ブースの運営(準備や景品用意など)は、協議会、チーム10000の瞳がサポートしました。

チーム10000の瞳は“突撃アンケート”



昨年に続き、チーム10000の瞳は住民の皆さんにビジョンに関心を持ってもらうためのブースを出しました。今年は大人向けの直撃アンケートを行いました(去年は子ども向け)。内容は、「9年後人口5000人をキープするには、何が効果的だと思いますか?」でした。選択肢は

- ① 将来北御牧に帰ってくるような子どもに育てる。
- ② 北御牧の魅力を広く知らせ、外から人を呼び込む。
- ③ 今よりも住みよく楽しい地域をつくる
- ④ 何もしないでもいい。 の4つでした。

毎回ドキドキしながら話しかけるのですが、皆さんとても真剣に考え、答えてくださいました。結果はともかく、このアンケートを通じて、住民や帰省されている皆さんと北御牧の現在・未来についてお話ができたこと、それがなにより大きな収穫だったと思います。

Q. 9年後の北御牧の人口を5000人キープするために何が有効か?

A. 子ども達を将来北御牧に帰ってくるように育てる。若者も呼び込む。

1. 北御牧の魅力も広く知らせ、外から人を呼び込むこと。移住定住の促進。

2. 北御牧を今よりも住みやすく楽しい地域にすること。

3. 今のまま何もしないでもいい。

人口5000人キープにもっとも有効なのは?

P. 子ども若者

1. 外から

2. 住みよい地域

3. 何もしない

サロンレポート

7/22(日) ふれあいコンサート

東御市文化会館が市内の公民館で開催している出張コンサートが、初めてサロンで行われました。今回はピアノ、ヴァイオリン、クラリネット、ドラムスのプロの4人組。新しいサロンの会場で、80名を超える聴衆は目の前の素敵な演奏に魅了されていました。



8/12(日) 第1回サロン市 9時～11時



来年、セブンイレブン横に直売所の開設が予定されています。それが稼動するまでの間、サロンで月1回程度、直売所をやってみることになりました。第1回目は朝市のあとの時間、今年は高温の影響のため野菜が不作で品物が揃うか直前までハラハラしました。



知恵蔵の時間

@まる屋



7月22日まる屋にて

第3回 水科 勝吉さん (御牧原)

【オウム真理教入村阻止の闘いを振り返る】

「テツの団結」という水色の冊子に、オウム真理教入村阻止の182日間の経緯が詳しく書かれている。極寒の御牧原で続けた24時間体制の監視。北御牧だけでなく、近隣からも警備の応援があった。対策委員長として奮闘した水科さんから語られる、不安と恐怖との闘いの日々。この先人達の団結があって、今の御牧原があるのだ。

第4回 角りわ子さん (下八重原)

【八重原の粘土で焼く器で私が表現したいこと】

修行時代、タイでの仕事、水上勉先生との出会い、勘六山の土からの制作の日々。角さんの歴史の中でしっかりと積み上げられた知識と経験。何とも言いえない土の良さが出た唯一無二なお皿は、どんな料理も引き立てる。そしてそれは、角さんそのものであることを感じた。



8月19日まる屋にて